指導者のための情報紙
URL» http://www.saitama-sports.or.jp/junior_club/
スポーツともだち仲間たち No.48
発行：公益財団法人埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団　〒362-0031 上尾市東町 3-1679　スポーツ総合センター

回覧 指導者・母集団

この情報紙は各単位団へ3部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。

平成30年度埼玉県スポーツ少年団代議員会

～第５代本部長に尾﨑　豊氏を選出～

平成30年度埼玉県スポーツ少年団代議員会が６月９日（土）、スポーツ総合センターで開催され、平成29年度事業報告並びに決算、平成30年度事業計画並びに予算についてそれぞれ原案のとおり承認されました。

また、今年は役員改選期にあたり、尾﨑　豊氏（吉見町本部長・前県副本部長）が第５代本部長に選出されたほか、平成30・31年度の新たな本部員が選出されました（別掲）。

▲ 挨拶する尾﨑豊新本部長（後列中央）と副本部長の各氏

平成30･31年度埼玉県スポーツ少年団本部員名簿

No.	役　職	名　前	性別	選　出	備考
1	本　部　長	尾﨑　　豊	男	吉見町	吉見町本部長
2	副 本 部 長	宮澤　達三	男	深谷市	深谷市本部長
3	副 本 部 長	長谷川　司	男	さいたま市	さいたま市副本部長
4	副 本 部 長	関根　　剛	男	宮代町	宮代町本部長
5	副 本 部 長	七五三和孝	男	東松山市	東松山市副本部長
6	本　部　員	安部　正幸	男	学識	戸田市副本部長
7	本　部　員	飯島美智子	女	学識	
8	本　部　員	大澤　静香	女	指導者協議会	指導者協議会副委員長
9	本　部　員	大野美江子	女	草加市（南部）	草加市本部長
10	本　部　員	北原　章男	男	川島町（西部）	川島町副本部長
11	本　部　員	久保　憲夫	男	杉戸町（東部）	杉戸町本部長
12	本　部　員	澁谷　竹司	男	三郷市（東部）	三郷市本部長
13	本　部　員	鈴木　茂憲	男	白岡市（東部）	白岡市本部長
14	本　部　員	関　　春美	女	坂戸市（西部）	坂戸市本部長
15	本　部　員	高篠　憲一	男	鶴ヶ島市（西部）	鶴ヶ島市本部長
16	本　部　員	高橋　　仁	男	上里町（北部）	上里町本部長
17	本　部　員	高橋　洋明	男	鴻巣市（南部）	鴻巣市本部長
18	本　部　員	田中　一光	男	川口市（南部）	川口市本部長
19	本　部　員	田中　靖彦	男	新座市（南部）	新座市本部長
20	本　部　員	棚沢　絹江	女	熊谷市（北部）	熊谷市本部長
21	本　部　員	丹治　智聖	女	学識	
22	本　部　員	中野　孝行	男	学識	
23	本　部　員	中山　和義	男	学識	
24	本　部　員	根岸　孝治	男	幸手市（東部）	幸手市副本部長
25	本　部　員	原野　隆弘	男	学識	鶴ヶ島市副本部長
26	本　部　員	春山　康壽	男	本庄市（北部）	本庄市本部長
27	本　部　員	日野　和利	男	和光市（南部）	和光市副本部長
28	本　部　員	兵藤　明子	女	指導者協議会	指導者協議会委員長
29	本　部　員	平田　道義	男	学識	蕨市本部長
30	本　部　員	福嶋　幸志	男	学識	柔道部会部会長
31	本　部　員	増田　圭司	男	狭山市（西部）	狭山市副本部長
32	本　部　員	増田　吉男	男	学識	剣道部会部会長
33	本　部　員	宮崎美千治	男	学識	野球部会部会長
34	本　部　員	宮下　達也	男	公益財団法人埼玉県体育協会	公益財団法人埼玉県体育協会理事
35	本　部　員	横田　尚俊	男	学識	空手道部会部会長
36	本　部　員	山﨑　正治	男	公益財団法人埼玉県体育協会	公益財団法人埼玉県体育協会理事
37	本　部　員	山下　　實	男	学識	バレーボール部会部会長

本部長挨拶

本部長
尾﨑　　豊

平成30年６月９日の埼玉県スポーツ少年団代議員会において、皆様からのご推挙をいただき第５代目の本部長を仰せつかることとなりました。身に余ることとは思いますが、粉骨砕身、スポーツ少年団の充実・発展のため、尽力していく所存です。

さて、近年スポーツ少年団では、様々な課題が生じてきております。競技の過熱化、指導者による暴力・暴言、あるいは育成母集団とのトラブル、子どものスポーツ離れなどが挙げられます。

私達スポーツ少年団関係者は、これらの課題に対し、スポーツ少年団活動の原点である「スポーツ少年団の目的」や「スポーツ少年団の理念」ということをもう一度確認し合い、明るく元気な子ども達の育成に向けて一丸となって取り組んでいきたいと思います。

今後も、皆様からのご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

スポーツくじ　toto　BIG
本紙はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業は、震災後、自由に外遊びやスポーツ活動をすることができない子供たちに、本県スポーツ少年団とスポーツ交流や外遊びを満喫してもらい、本来子どもたちが持っている笑顔の力で一日でも早い被災地の復興を祈念することを目的として実施されているもので、今年で７回目を迎えます。今年度から、福島県と共同で運営されることになりました。概要は次のとおりです。

※この事業にかかる費用は（バス代、宿泊・食事代〈１日目夕食～３日目昼食まで〉、イベント経費）は公益財団法人埼玉県体育協会が負担しています。

★主　催
公益財団法人埼玉県体育協会埼玉県スポーツ少年団

★協　力
公益財団法人福島県体育協会福島県スポーツ少年団
福島県スポーツ少年団リーダー会
埼玉県スポーツ少年団リーダー会

★期　日：８月10日（金）～12日（日）２泊３日

★会　場：スポーツ総合センター　他

★参加者：指導者、団員（原則として小学４年生以上）

※福島県と埼玉県の参加者は183名。全員が同センター宿泊棟に宿泊。

本部員会報告

６月９日（土）に開催された平成30年度代議員会の終了後、スポーツ総合センターにおいて本部員選任後初の臨時本部員会が開かれました。専門委員会及び指導者協議会の平成30年度の取り組み内容の詳細について確認の後、本部員の専門委員会への所属調整が行われました。そして所属決定後に新たな委員により各委員会が開かれ、それぞれの委員会の正副委員長の選出等について協議されました。

また、７月７日（土）に第１回本部員会が開催されました。同会では各専門委員会から提案された本部員以外の学識専門委員の推薦について、提案され承認されました。今後各委員会並びに指導者協議会は、新たな委員構成により平成30・31年度の取り組みを行っていくことになります。

平成30年度認定員養成講習会

平成30年度の認定員養成講習会は下記のとおり実施されることになりました（実施済みを含む）。他市町村での受講を希望する場合は、必ず自分の所属市町村スポーツ少年団事務局をとおして、開催市町村本部へお問い合わせください。

No.	実施スポーツ少年団	期日	予定会場	定員
1	埼玉県スポーツ少年団	10月27日（土）・28日（日）	スポーツ総合センター	150
2	さいたま市スポーツ少年団①	９月１日（土）・２日（日）	ときわ会館	150
3	さいたま市スポーツ少年団②	11月３日（土）・４日（日）	ときわ会館	150
4	川口市スポーツ少年団	８月25日（土）・26日（日）	川口緑化センター樹里安	150
5	草加市スポーツ少年団	５月27日（日）・６月３日（日）	草加市スポーツ健康都市記念体育館	80
6	新座市スポーツ少年団	９月９日（日）・16日（日）	新座市民総合体育館	50
7	和光市スポーツ少年団	８月11日（土）・12日（日）	和光市運動場会議室	60
8	鴻巣市スポーツ少年団	１月12日（土）・13日（日）	川里農業研修センター	90
9	上尾市スポーツ少年団	９月８日（土）・９日（日）	上尾市青少年センター	80
10	北本市スポーツ少年団	６月17日（日）・24日（日）	北本市体育センター	50
11	川越市スポーツ少年団	６月30日（土）・７月１日（日）	高階公民館	40
12	所沢市スポーツ少年団	12月15日（土）・16日（日）	所沢市民体育館	80
13	鶴ヶ島市スポーツ少年団	９月１日（土）・２日（日）	鶴ヶ島市役所	30
14	東松山市スポーツ少年団	１月26日（土）・27日（日）	東松山市民活動センター	100
15	川島町スポーツ少年団	８月19日（日）・26日（日）	川島町コミュニティセンター	50
16	秩父市スポーツ少年団	６月30日（土）・７月１日（日）	秩父市スポーツ健康センター	30
17	本庄市スポーツ少年団	11月10日（土）・11日（日）	本庄市役所大会議室	60
18	寄居町スポーツ少年団	８月11日（土）・12日（日）	寄居町役場	30
19	加須市スポーツ少年団	６月30日（土）・７月１日（日）	加須市民体育館	50
20	春日部市スポーツ少年団	12月２日（日）・９日（日）	春日部市総合体育館	100
21	久喜市スポーツ少年団	２月３日（日）・10日（日）	ふれあいセンター久喜	100
22	白岡町スポーツ少年団	２月２日（土）・３日（日）	ハピスしらおか	100

専門委員会及び指導者協議会の取り組み

埼玉県スポーツ少年団本部専門委員会はスポーツ少年団の普及と育成及び団活動の活発化を図るため、県本部で実施する事業を専門的に検討し、協力することを目的に、平成10年度に設置されました。また、指導者協議会は同会規程の一時凍結期間を経てから新たな規程のもとに再活動を行っています。そうした中で、各専門委員会及び指導者協議会は埼玉県スポーツ少年団の発展に寄与することを目的に、下記に列記するさまざまな課題に対する取り組み内容を参考にし、重要度の高い問題や緊急度の高い課題を計画的に検討し、本部員会をとおしてその方策や事業の実現を図る活動を展開していきます。

ここでは、専門委員会及び指導者協議会の平成30・31年度の取り組み内容の詳細についてお知らせします。

専門委員会の取り組み内容の詳細

〔指導者・リーダー育成委員会〕

1　指導者の増員と資質の向上
- ＊指導者の資質向上のための研修事業の充実
- ＊単位団複数有資格者の配置
- ＊女性指導者の増加を促進（本部直轄と連携）

2　中高校生の活動促進とリーダーの育成
- ＊リーダー養成のための各種研修事業（ジュニアスクール）の充実
- ＊中高校生の活動促進
- ＊リーダーの認知度向上
- ＊単位団・市町村、県のリーダー活動への支援と結成促進

3　国際交流事業の支援と促進
- ＊日独・日中などの国際交流事業の支援と促進

4　指導者協議会との連携
- ＊事業によって連携協力

〔企画広報委員会〕

1　県及び市町村本部組織の充実強化
- ＊県本部と市町村本部の連携促進
- ＊スポーツ少年団育成に関する調査、研究

2　広報活動の充実
- ＊広報ガイドブックを活用し活動（障害を持った子の加入促進広報を含む）の充実
- ＊マスコミへの情報提供と活用の促進

3　母集団育成の充実
- ＊育成母集団の活動支援
- ＊研修事業の充実

4　特別事業の企画立案
- ＊周年事業、顕彰事業等の企画立案

5　総合型地域スポーツクラブとの連携
- ＊連携策の研究
- ＊スポーツ少年団から総合型地域スポーツクラブへの発展を支援

〔活動交流委員会〕

1　種目別交流大会の開催と支援
- ＊勝利至上主義偏重をなくすため、大会主旨の理解を促進
- ＊競技団体等との二重登録問題や団員減少に伴う大会参加要件等の検討
- ＊競技団体や中学校部活動との連携

2　全国、関東、県大会への参加、協力
- ＊競技別交流大会への参加、支援
- ＊野外活動大会や地域間交流事業への参加、支援

3　運動適性テストの普及
- ＊実施の拡大と結果のフォローアップを充実
- ＊体力テスト（運動能力テスト）判定員の養成

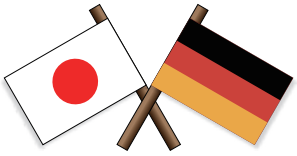
指導者協議会の取り組み内容の詳細

1　県本部への意見具申
- ＊指導現場の課題や問題点を把握し、解決へ向けて本部へ意見具申する

2　指導者の資質向上
- ＊認定員、育成認定員の増員を図る
- ＊認定指導者の再研修促進と市町村本部の管理システム活用の促進
- ＊県内指導者の交流と情報交換

3　その他
- ＊指導者・リーダー育成委員会と連携し本部事業へ協力

※以上の詳細項目に該当しない問題・課題が生じた場合は、各委員会等の判断で取り組み内容に随時追加する。ただし、県スポーツ少年団の全体的な問題に発展する可能性があると思われるものは、事前に本部員会に報告し、本部員会の了承のもとに取り組むものとする。



第45回日独スポーツ少年団同時交流

～指導者１人及び団員５人を派遣、受け入れは吉見町～

日独スポーツ少年団同時交流は、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団とドイツスポーツユーゲントとの協定に基づいて、1974年から原則として毎年夏休み期間中に行われている事業で、今年で45回目となります。埼玉県からの今年の派遣者は指導者１人と団員５人。受け入れ事業は吉見町で、平成21年度、平成27年度に続き３回目の受け入れを引き受けていただきました。

▲ ３年前の吉見町での交流風景

〔派遣事業〕

■派遣基本日程

＊結団式／７月30日（月）
国立オリンピック記念青少年総合センター

＊派遣期間／７月31日（火）～８月17日（金）

＊関東Ⅱグループ派遣地／ドイツ連邦共和国
メクレンブルクフォアポンメルン州

■派遣団員

＊指導者

大谷　正巳（男　71歳）東松山市・県本部

＊団員（関東Ⅱグループ：茨城県は参加者なし）

菅原凜太郎（男　16歳　高校２年）
所沢市　北野サッカークラブスポーツ少年団

須澤　杏奈（女　18歳　大学１年）
所沢市　若松キッカーズスポーツ少年団

根岸　花奈（女　18歳　大学１年）
白岡市　白岡総合第一スポーツ少年団

荒木　　愛（女　16歳　高校２年）
宮代町　宮代ミニバスケットボールスポーツ少年団

大内　陸駆（男　18歳　大学１年）
白岡市　白岡ファイターズスポーツ少年団

〔受け入れ事業〕

■受け入れ市町村本部／吉見町スポーツ少年団

■受け入れ期間／７月26日（木）～８月５日（日）
10泊11日

■受け入れパートナー／ドイツ連邦共和国ヘッセン州
指導者１人、団員11人

＊主な受け入れプログラム

７／26	対面式、ウエルカムパーティー
７／27	町内施設見学（浄水場、吉見観音、百穴等）
７／28	ディスカッション、茶道体験、お祭り・盆踊り体験
７／29	文化体験（折り紙･けん玉･書道･うちわづくり）、料理体験（そうめん・おにぎり・天ぷら等）
７／30～31	日光方面への小旅行（東照宮、草津温泉ほか）軽井沢、浅間山
８／１	スポーツ体験、畳制作・人形制作見学、ショッピング
８／２	長瀞見学（ライン下りほか）、紙すき・剣道体験
８／３	醤油工場･東山記念館･相撲見学、各種スポーツ体験
８／４	ホストファミリープログラム、サヨナラパーティー
８／５	次の受け入れ地（茨城県）へ移動

第１回ジュニアスポーツフォーラム

～埼玉県から17人が参加～

平成30年６月17日（日）、東京都千代田区飯田橋のホテルグランドパレスにおいて第１回ジュニアスポーツフォーラム（主催：公益財団法人日本スポーツ協会／主管：日本スポーツ少年団指導者協議会運営委員会）が開催され、本県から17人が参加しました。

内容は、早稲田大学スポーツ科学研究所教授の友添秀則氏による「今後の地域スポーツ体制の在り方」と題する特別講演の後、パネルディスカッション方式による分科会（テーマは下記のとおり）が行われました。

A：「地域スポーツクラブとしての活動を考える」
B：「子供の運動習慣定着に向けて」
C：「これからのスポーツ指導者に求められること」
D：「人々をつなぐスポーツ少年団リーダー活動を考える」
E：「スポーツ団体における処分決定等に係る適切な手続きについて」

なお、E分科会においては本県スポーツ少年団の宮澤達三副本部長がパネラーとして参加されました。

▲ E分科会の様子

■宮澤副本部長からの分科会報告

Ｅ分科会：「スポーツ団体における処分決定等に係る適切な手続きについて」

１　不祥事と責任問題

スポーツ＝高潔さ：フェアプレー……組織の統治・法令順守が求められる。

２　スポーツ団体における不祥事の対応等

＊法律家の視点から

●一般的な不祥事処分のプロセスとスポーツ少年団登録者処分基準について等の説明。

調査・処分の現場では何が起こっているか。処分事例研究として、「競技者の不祥事」「親の不祥事」「指導者の不祥事」「下部団体の不祥事」等について説明。

＊埼玉県の具体的な処分事例について説明

埼玉県スポーツ少年団の「スポーツ少年団登録者処分基準運用」について説明。

次に、県本部と市本部で行った処分事例について、①不祥事の発生②事実調査③処分調査④処分等について具体的に説明。（暴力問題と暴言問題）

ある市の事例では、処分通達後に当該団の指導者と母集団を集めて不祥事による処分事実と今後の指導・活動の在り方について説諭したことを説明。

また、不祥事をおかした指導者に共通する問題点として考えられることとして

①謙虚さに欠ける。…「俺が教えてやっている」「俺が絶対」等の意識をもっている。

②母集団の遠慮が後押し。コミュニケーション不足。→いつか怒りが爆発。

③「おかげ様」の気持ちがない。団員がいるおかげで指導者をやれている。

◎子どもの人権を尊重して欲しい。子どもにもスポーツをする・楽しむ権利がある。

◎常に、子どもが主役。子供に感謝。我々指導者は、良き演出家でありたい。

フロアからの県内団への周知方法等についての質問に対しては、県代議員会で承認後に東西南北ブロック本部長会議で周知徹底を図り全市町で倫理委員会組織の確立の方向であると伝える。

法律家から、役員を第三者になってもらうのは人材難で現状ではまだ困難との説明。

〈受講者の感想〉

●受講した日野和利本部員（和光市）の感想

午前中の特別講演では「今後の地域スポーツ体制の在り方」についての説明等を受けました。その中で「総合型地域スポーツクラブ」に関しては理解しにくい部分もありましたので、今後いろいろと学んでいきたいと思います。午後はＣ分科会に参加しました。ジュニアスポーツにおいても指導者による反倫理的行為が後を絶たないこと、ジュニアスポーツの指導者は子どもたちのその後のスポーツとの関わりに大きく影響を与える立場であり、その責任はとても大きいということなどの話を聞かせていただきました。私も単位団で指導をしている立場としてとても参考になり、今後の指導に役立てていきたいです。来年も受講したいと思います。

種目別交流大会結果

第37回県民総合体育大会 埼玉県スポーツ少年団 ミニバスケットボール交流大会

6月30日・7月1日
サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）

１日目は男女とも県内各地区より12チームが集まり、男子３チーム（４ブロック）・女子３チーム（４ブロック）のリーグ戦が行われました。

２日目は、交流大会のため男女順位別の決勝トーナメント戦が行われました。

■男子１位グループ

優　勝	越谷ウィンズ
準優勝	下忍ミニバス
３　位	鶴ヶ島ドリームス
４　位	朝霞フレンドリーズ

■女子１位グループ

優　勝	所沢ライオンズ
準優勝	幸松ミニバス
３　位	川口じりんMBC
４　位	大宮中川ミニバス

■男子２位グループ

１　位	大沢スマイリーズ
２　位	さいたま辻

■女子２位グループ

１　位	リベルタ
２　位	さきたまミニバス

■男子３位グループ

１　位	所沢泉ドルフィンズ
２　位	八幡ドリーム

■女子３位グループ

１　位	大沢スマイリーズ
２　位	本庄中央ミニバス

第43回埼玉県スポーツ少年団 小学生軟式野球交流大会総合開会式

3月25日　県営大宮公園野球場

埼玉県内５ブロックより、354団、5,321名の団員が集合。元気のよい掛け声での入場行進後、総合開会式が行われました。

第３回スクール21カップ 埼玉県スポーツ少年団 U－10サッカー大会総合開会式

4月14日　県営上尾運動公園陸上競技場

埼玉県内４ブロックより約380チーム、約6,000人が集まり、総合開会式が行われました。

この大会は埼玉県スポーツ少年団が主催で、埼玉新聞社が共催です。スクール21学習塾を運営する（株）エジュテックジャパン様から特別協賛としてサポートをいただいています。この後、４月から11月まで各地区で予選が行われ、12月に中央大会が開催されます。

〔中央大会〕

12月２日（日）（１・２回戦）
12月23日（日）（準決勝・決勝）

第37回県民総合体育大会 埼玉県スポーツ少年団 夏季小学生軟式野球交流大会

６月17日（日）、鶴ヶ島市運動公園において準決勝・決勝戦が行われ、大石南ミラクルズ（上尾市）が優勝しました。全国大会への出場権をかけて、７月の関東大会へ出場することになりました。

〔準決勝〕

鳩山野球（鳩山町）	２－４	戸塚イーグルス（川口市）
大石南ミラクルズ（上尾市）	３－１	上高野クリッパーズ（幸手市）

〔決勝戦〕

大石南ミラクルズ（上尾市）	５－４	戸塚イーグルス（川口市）

公益財団法人埼玉県体育協会　キャッチフレーズ
まず参加　たのしくスポーツ　みんなが主役

安心・安全で楽しい少年団活動を行うために

～団内で安全策を共有し、事故防止に細心の注意を！～

暑い季節の中での団活動。そうした中で、安心・安全で楽しい活動を行うためには、指導者と保護者をはじめ団関係者が安全策を共有し、細心の注意を払いながら実施することが重要です。

□ 熱中症の症状・対応・予防

熱中症は、気温の急な上昇に体がまだ慣れていない春先などに起こることもありますが、真夏の炎天下(屋内も含めて)でのスポーツ活動中では特に起こりやすいため、熱中症に対する十分な知識と事前の備え、そして何よりも適切で速やかな対応が求められます。

〔熱中症の症状と対応〕

○筋肉がけいれん(熱けいれん)

⇒けいれんをしている部分をマッサージする。

○皮膚が青白く、体温が正常(熱疲労)

⇒心臓より足を高くして、あおむけに寝かせる。水分が摂れるなら少しずつ薄い食塩水かスポーツ飲料を何回かに分けて補給する。

○皮膚が赤く、熱っぽいならば(熱射病)

⇒上半身を高くして座っているような状態で寝かせる。体を冷却する。特に首やわきの下、足の付け根など血管が表面に近い部分を集中的に冷やす。また、水を体に吹きかけ、風を送って体を冷やす。

●意識がはっきりしない場合は(熱失神)

反応が鈍い！　言動がおかしい！　意識がはっきりしない！　意識がない！などの状態のときは救急車を呼ぶ！　同時に応急手当を行う(涼しいところへ運び、衣服を緩めて体を冷やすこと)。意識がない時の水分補給は厳禁です。とにかく声をかけて、状態を確認してください。結果的に救急車による搬送を行うことがなく、その後回復したとしても、必ず病院で受診してください。

〔熱中症の予防〕

1　体調を整える

寝不足やかぜ気味など、体調が悪い時は運動を控える。

2　服装に注意

通気性の良い服を着て、帽子を着用する。

3　こまめに水分補給

のどが渇いたと感じた時にはすでにかなりの水分不足になっています。定期的に少しずつ水分を摂るようにすることが大切です。同時に塩分も失われていることが多いため、塩分を含んだスポーツドリンクなどをあらかじめ準備しておきましょう。

□ 野外活動時の注意点

例年、夏休み中に合宿等の野外活動が計画されていると思います。例年通りの内容だからと安心せず、活動場所や活動計画の再確認を行ってください。

熱中症に対する注意のほか、夏場では急な雷や豪雨が発生することがあります。最新の天気予報を随時入手し、天候の急変による急な川の増水や落雷の可能性を予測して事故防止に努めましょう。さらに野外活動においては、スズメバチなどに刺される危険があります。万が一に備え、慎重な対処が必要です。

□ 食中毒に注意を！

夏場は、弁当など食品が傷みやすくなります。クーラーボックスなどで対応するほか、生水や飲料水についても最新の注意を払うことが必要です。

□ 地震に注意を！

最近、全国各地で地震が発生し、多大の被害が出ています。６月18日には大阪府北部を震源とする最大震度６弱の地震が発生し、大阪府内を中心に大きな被害が出ました。中でも、大阪府高槻市の寿栄(じゅえい)小学校のブロック塀が倒壊し、４年生の三宅璃奈さんが犠牲になった事故は大変衝撃的でした。

地震など自然災害はいつどこで起こるかは事前にピンポイントで特定することは非常に難しいことですが、最新の科学技術の進歩により発生場所の範囲や時期、地震の規模及び発生する確率などの予測が示されている状況でもあります。

そうした中で、関東地方、そして埼玉県内でも大規模地震が起こることも十分に想定され、緊急事態が発生した時、子どもたちをどのように避難させるか、地域の皆さんとどのように連携して対応するのかなど、あらかじめ考えておくことが大切です。また、事前準備の一つとして、普段の団活動の拠点施設(学校の校庭や体育館など)の状態のほか、子どもたちが自宅から活動場所へ往復する経路などに危険個所がないかチェックしておくことが大切です。そして、それらの情報を学校関係者や学校開放運営委員会などの地域組織と日ごろから共有しておくことも大変重要です。

『子どもたちのための母集団活動』
～愛（合い）・こ・と・ば～

一　わたくしたちは　スポーツをとおして　心身ともに健やかな団員育成のため　活動します。
一　わたくしたちは　全ての団員を思いやり　支え励ましながら　活動します。
一　わたくしたちは　団員とともに　フェアプレイを尊重し　活動します。
一　わたくしたちは　自らもスポーツに親しみ　明るく楽しく　活動します。
一　わたくしたちは　指導者と連携し　地域に認められるスポーツ少年団となるよう　活動します。

リーダー会が新役員体制でスタート

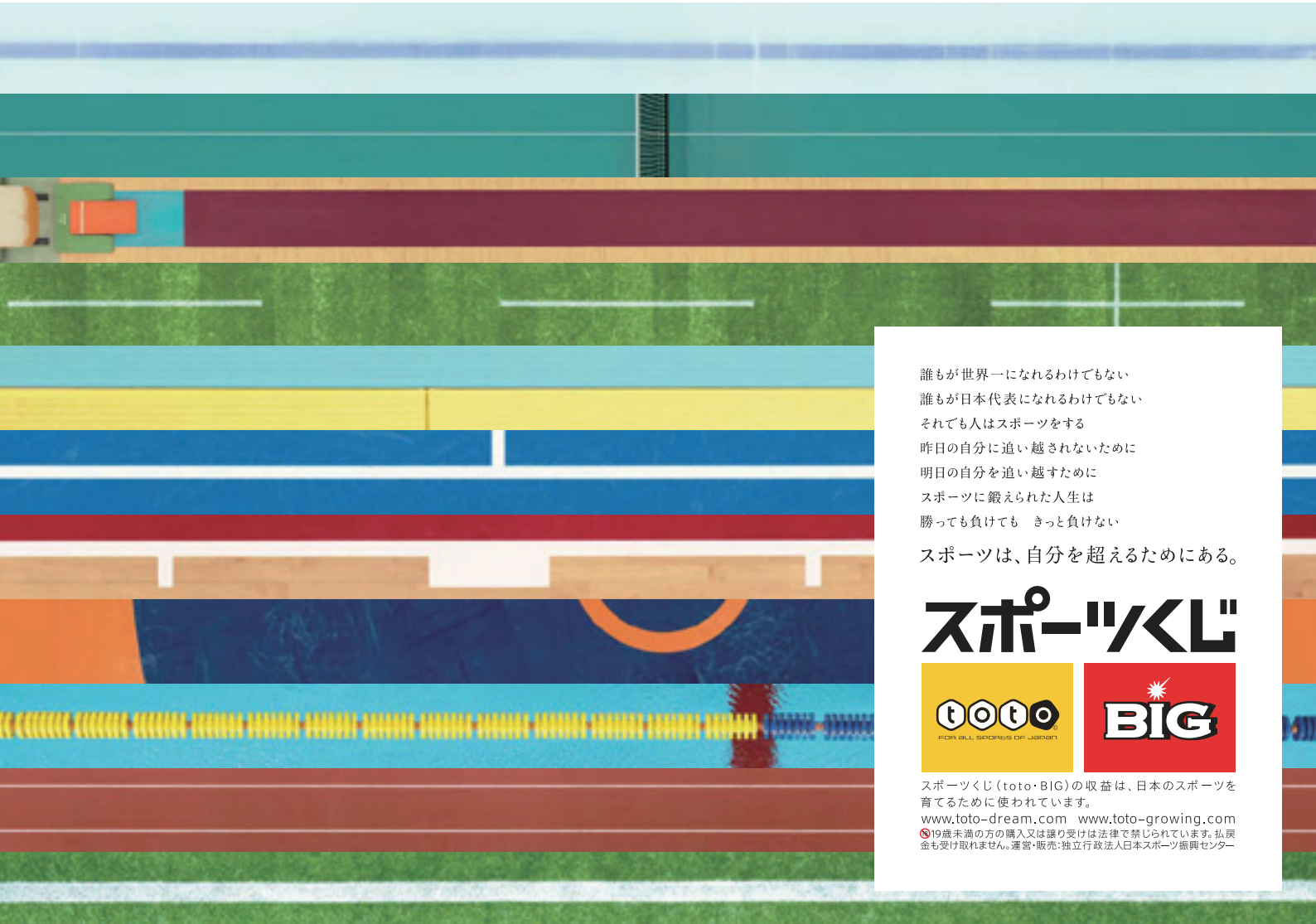
埼玉県スポーツ少年団リーダー会の総会が４月22日（日）、スポーツ総合センターで開催されました。総会では事業計画及び予算のほか、新役員体制も承認され、平成30年度の活動がスタートしました。

〔役員一覧〕
会　長　岩男和樹
（さいたま市七里ジュニアバスケットボールクラブ）
副会長　武田昂平（上尾市春日ジュニアキング）
根岸花奈（白岡市白岡総合第一）
書　記　寺井義貴（草加市ヤハタ）
中澤彩恵（所沢市所沢育星JVC）
会　計　守安さくら（北本市北本ミニバス）
理　事　町田　愛（飯能市飯能空手道）
岩男将哉
（さいたま市七里ジュニアバスケットボールクラブ）

編集後記

過日の代議員会で第５代本部長に前副本部長の尾崎豊氏（吉見町本部長）が選出されるとともに、新たな本部員も選任され、平成30年度の各種事業が本格的にスタートしました。なお、この情報紙発行を担当する企画広報委員会でも動きがあり、関根剛前委員長と長谷川司副委員長が共に副本部長に就任し、本委員会委員長には本部員の平田道義氏（蕨市本部長）が就任しました。委員も若干増えましたので、情報紙の充実に向けて取り組んでいきたいと思います。

埼玉県スポーツ少年団　企画広報委員会
TEL：048-779-5895　FAX：048-774-5550
E-mail：saitamaken@japan-sports.or.jp



誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても　きっと負けない
スポーツは、自分を超えるためにある。
スポーツくじ
toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN　BIG
スポーツくじ（toto・BIG）の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。
www.toto-dream.com　www.toto-growing.com
19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター